



☆☆ 3学期の主な行事等を紹介します ☆☆

幼稚部 豆まき



幼稚部では、幼児の登校に合わせて2月2日と3日に【豆まき】をしました。それぞれにクラスの時間に制作したお面と、心の中にある退治したい鬼の紹介をしました。園庭にやって来た赤鬼(教頭先生扮する)がちょっと怖かったけど、「おには〜そと!」と、先生と一緒に豆をまきました。「泣き虫鬼」「いじわる鬼」は居なくなったかな? 怖かった鬼とも仲良くなりました?!



小学部 お楽しみ活動



2月10日(金)は、小学部お別れ遠足の予定でしたが、新型コロナウイルスまん延防止措置が発令され、実施できなくなりました。でも、おやつ購入の校外学習は予定通り、近くのコンビニまで買い物に行きました。購入金額は一人300円。みんな思い思いに自分の好きなおやつを選びました。その後学校で、おうちの方に作って貰ったお弁当をおいしく頂き、みんなでゲームをして、楽しいひと時を過ごしました。



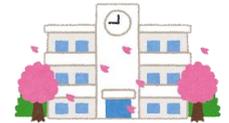
高等部 職業科 校内販売会

3月1日(火)、校内で職業科の販売会を行いました。産業工芸科と被服科の生徒たちが、日々の学習の中で制作した製品を販売しました。本来は店舗の一角をお借りして、販売会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスまん延防止措置が発令され、校内での販売に変更しました。保護者にも多数来ていただき、多くの品物を販売しました。自分たちが作った物をアピールしたり、質問に答えたりしながら、お客さんとのコミュニケーションも楽しむことができました。卒業を目前にした3年生にとっては、これまでの学習や製作の成果を発表する最後の場となりました。



春

中学部 学校間交流



2月18日（金）、久留米聴覚特別支援学校との交流を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大が続く中で、昨年度は手紙のやり取りのみでの交流でしたが、今年度は、リモートでの交流ができました。リモート形式は最近、経験を重ねてきたこともあり、生徒たちも慣れた様子で落ち着いて、代表のあいさつや司会進行、自己紹介、学校の行事や活動の発表、質問の受け答えなど、自分の役割をしっかりと果たすことができました。特にフリーの質問コーナーでは、予想外の質問に苦笑いをする場面もあり、始終和やかな雰囲気での交流ができました。生徒たちは皆、来年こそは直接会って、交流をしたいという思いを伝え合っていました。



寄宿舎 余暇活動

1月11日（火）午後、体育館で二運動会を開催しました。新型コロナウイルスの影響で校外活動ができず、生徒から出た要望で開催を決定しました。準備期間も短い中、舎生会役員を中心に小道具やプログラム作成、打ち合わせなど、準備を頑張ってくれました。当日は、ラジオ体操に始まり、玉入れ、借り物競争、リレーの4つの競技を生徒と職員の混合の3チームに分かれて行いました。多くの点数を勝ち取るために、チームみんなで力を合わせて頑張っていました。



ラジオ体操



玉入れ



借り物競争



巡回相談は随時受け付けています

<障害のある子どもの学校生活支援事業>



～ 支援会議への出席や地域の学校への支援など・発達障害に関するご相談ください ～

幼稚園・こども園・保育園や小・中・高等学校等に職員を派遣し、子どもの実態把握や支援方法の改善についてお手伝いをしています。聴覚障害はもちろん、発達障害に関する相談にも対応しています。

幼児児童生徒の授業の参観と支援方法の助言、研修会の講師等のニーズに応えています。電話・FAX・メール等で「支援部」までお気軽にご相談ください。

TEL:0952(30)5368 FAX:0952(34)1043
MAIL: rougakkou@education.saga.jp